

優秀賞 10 高校

優秀賞 北海道標茶高等学校
地域環境系列 環境ゼミ キノコ班
標茶高校敷地内に自生するキノコの調査と考察

高校敷地内の軍馬山山道及び軍馬川源流山道に自生するキノコを発見・鑑定し、今年度は合計135種類のキノコを同定した。自生するキノコの魅力を発信するためにオリジナルRPGを制作し、誰でもプレイできるようにネット上にアップロードした。これを用いて活動を発信する。



優秀賞 仙台高等専門学校 名取キャンパス
仙台大専 香りの抽出グループ
松がレモンの香り？クロマツで無添加除菌スプレーの開発！

クロマツから採れる精油には脱臭・抗菌作用を示す成分であるピネンやリモネンが含まれる。私たちは、精油の抽出法の「水蒸気蒸留法」を用いてクロマツの成分を抽出し、人にとって安全でクロマツの香りと抗菌性のある無添加抗菌スプレーを開発し作ることができた。



優秀賞 栃木県立栃木農業高等学校
農業環境部 環境活動班
新しい時代の道普請 ～パートナーシップによる地域環境保全～

豪雨災害で発生した土砂廃棄物を再利用し、放置ため池改修や林道整備に応用している。パートナーシップの構築を図り、協働活動「栃普請」を組織化。市民参加型の「道普請ウォーク in 太平山」を実施。市民意識調査や行政機関へのヒアリングもとりまとめている。



優秀賞 学校法人静岡理科大学 星陵高等学校
バイオメタン班
バイオメタンのある暮らし

再生可能エネルギーの普及が必要と考え、校内でバイオメタン生成実験を実施。太陽熱温水器、太陽光・風力発電機を用いて施設運転に必要な熱や電気を作り、他からの供給に頼らないでバイオメタンを生成する「自立型バイオメタンシステム」の運転を行っている。



優秀賞 学校法人鈴鹿享栄学園 鈴鹿高等学校
鈴鹿中学・高等学校SOM
海岸清掃とロボットを使った環境教育活動

海洋ゴミ問題の解決・改善を目標に活動している。海岸清掃は、月1回を目標に運営はすべてメンバーが行う。環境教育活動のロボットはすべて自作で、伊勢湾に棲むアカウミガメ、スナメリ、ハセイルカなどをモチーフに造る。幼稚園やイベント、文化祭などで使っている。



優秀賞 京都府立綾部高等学校
分析化学部
地域と歩む由良川保全プロジェクト ～由良川レンジャー奮闘記part2～

由良川の化学的・生物学的な水質調査、環境出前授業、清掃活動など安全安心な食料生産の確保、生物多様性保護に取り組んでいる。由良川クリーン作戦は地域に定着してきた。第7回目の今回は、市や市民、企業、関係団体を巻き込み、過去最高の230名の方が参加した。



優秀賞 山陽女子中学校・高等学校
地歴部
瀬戸内海の海洋ごみ問題の解決に向けての女子中高生の挑戦～SDGsの視点からのアプローチ～

瀬戸内海の海底ごみや島嶼部の漂着ごみの原因は、沿岸部だけではなく、流入する河川の上流域や対岸部を含む生活圏から排出される生活ごみ。SDGsの視点を取り入れて目標をより明確化して、啓発活動、商品を販売する経済の面からのアプローチなどの重要性を発信。



優秀賞 香川県立多度津高等学校
建築科&写真部
地域と繋がる環境活動

地域社会との交流や近年ではボランティアや環境活動を積極的に行っている。環境イベントへの参加が増え大きな成果となっている。活動は、①かまぼこ板ものづくり、②グリーンカーテンが交流の場、③古民家再生による地域の活性化、④地元の美味しい食材が缶詰に。



優秀賞 長崎県立諫早農業高等学校
食品科学部
身近な環境問題解決法の検討 ～放置竹林対策に向けた菌床栽培法～

キノコ菌床栽培の一般的な「米ぬか」などの栄養体を「竹チップ」に換えると、かびなどの雑菌が発生しにくく、生育スピードや品質にも問題が無いことが分かった。竹チップを用いた菌床栽培法は、農家での実証実験も終え、放置竹林対策となることが期待されている。



優秀賞 沖縄県立沖縄水産高等学校
シーメンズクラブ
【豊かな海を守る】プロジェクト～海ゴミとマイクロプラスチック問題の解決に向けて一歩踏み出そう～

沖縄本島の天然ビーチ5カ所での漂流物調査。久高島、伊江島での漂着物とマイクロプラスチック調査。沖縄県実習船「海邦丸五世」で太平洋上の漂流ゴミ目視観測とマイクロプラスチック量調査、マグロ、ミズウオ、カジキの胃袋の内容物調査等を実施している。

